

プレスリリース カテゴリー: [障害福祉/福祉車両]

2014年 1月発信

報道関係者各位

## 障害者が作るサイドカー型福祉車両

車椅子を使用する家族や友人を乗せてツーリングに行ける三輪バイクの開発

バイク事故で両下肢に障害を持った社員が社長と共に社会福祉の観点より足腰の不自由な人用の乗り物を製作しようと活動を開始。このたびその第一弾として車椅子に乗ったまま風を受けて走れる三輪バイク（サイドカー）を開発しナンバーを取得。福祉車両としての要件も満たした三輪バイクです。



両下肢に障害を持つ社員である島津さんの長年の夢を実現するため、車椅子に乗ったまま乗車可能な三輪バイクを製作するプロジェクトを始動しました。障害者の観点から物を見ることができる島津さんをプロジェクトリーダーとし、第一弾として足腰に障害を持つ家族や友人と共に風を切って走る楽しみを味わってもらいたい。そんな願いをかなえるための車椅子介助用車両の試作車を開発し平成25年12月に無事にナンバーを取得しました。この車両の特徴は、車椅子の昇降及びスペースを確保しつつ現実的な価格で提供するために、250ccのスクーターをベースに側車付軽二輪（サイドカー）にしたところにあります。また、この車両を福祉車両とするため厚労省に島津さん自ら何度も掛け合い、前例の無い中で無事に福祉車両として要件を満たしていることを確認頂くことができました。

最も苦労した所は、横幅の制約です。軽二輪のサイズは全長2.5m 全幅1.3m 全高2mと定められていますので、車椅子のスペースを確保するために走行に支障がない車体側の突起を取り去り、側車タイヤの設置方法、アライメント調整を何度も検討しなおしたところです。

### <島津の概要>

昭和35年11月30日北海道釧路市生れ。

26歳のときにバイク事故により2年間の入院生活を送る。

障害を抱えて20年経ったときに「障害者だって風を切って走りたい」と思い、自分のために何台か三輪バイクを製作していた。その後この技術で社会貢献できないかと考え、今まで勤めていたIT企業を退社し、少ない蓄えで制作を行っていたが1年ほどで限界に達する。

このとき社員募集をしていた片山技研の門をたたき採用いただく。

通常業務を行いつつ、アイディア出しの毎日で今回のプロジェクトを発足し、片山社長の力を借り無事一号車完成に至る。

情に厚く自分の思いを汲み取っていただけた片山社長に心から感謝をいたします。（島津）

### <会社概要>

車両事業部 フリーホイールではバイクのカスタムを手がけるプロショップとして、これまで多くの三輪バイクを製作販売しています。この他、太陽光発電部門を手掛けています。

### <本件に関するお問い合わせ>

広報担当者 有限会社片山技研 島津徹也（しまづてつや）

Tel: 046-264-2720 E-mail: [freewheel@freewheel-jp.com](mailto:freewheel@freewheel-jp.com)

リンク先 URL: [http://freewheel-jp.com/wp/?page\\_id=582](http://freewheel-jp.com/wp/?page_id=582)